

事務事業名	コード	35200 育英資金給付事業	予算科目	会計 一般	款 10	項 1	目 2	所管課	学校教育課	担当班	学務班	
基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市育英資金給付条例、旭市育英資金給付条例施行規則				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業			
施策体系	16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	88 育英資金給付事業					<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画			
施策の展開			戦略事業						<input type="checkbox"/> 新市建設計画			
								<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想				
								<input type="checkbox"/> 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	特に優れた資質を有しているが経済的理由により修学困難な生徒に対し、教育の機会均等を損なうことがないように助け、将来旭市の発展及び社会に貢献できる青年の育成を図ることを目的とし、育英資金を給付する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
合併前の奨学金制度は旧旭市・旧千潟町では給付、旧海上町・旧飯岡町では貸付としての制度であったが、合併により新旭市の奨学金制度は、給付事業として統合された。	近年は高校の授業料無料化等の影響もあり、高校生の応募が少なくなっているため、大学生等を含めた募集枠について検討する必要がある。また、国が返還の必要のない「給付型奨学金」を非課税世帯等の大学進学者を対象として創設し、平成30年度進学者より本格実施される。(一部先行実施)
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
ホームページを見やすく、わかりやすくしてほしい。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円								
1. 委員報酬	36	育英資金給付選考委員会委員報酬6名分	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
2. 給付金	5,324	育英資金給付金	1. 委員報酬	千円 18	18	36	36	36
			2. 給付金	千円 6,487	6,437	4,823	5,324	6,545
				千円				
				千円				
				千円				
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円								
1. 国庫支出金	0		事業費計(A)	千円 6,505	6,455	4,859	5,360	6,581
2. 都道府県支出金	0		1. 国庫支出金	千円				
3. 地方債	0		2. 都道府県支出金	千円				
4. その他	6	育英基金利子	3. 地方債	千円				
			4. その他	千円 33	6	22	6	1
			5. 一般財源	千円 6,472	6,449	4,837	5,354	6,580

前年度増減理由	H28年度に給付決定した大学生等の人数が増えたため。
---------	----------------------------

従事職員数	常時 1人	最大 2人	×	5日	=	延べ 10人
-------	-------	-------	---	----	---	--------

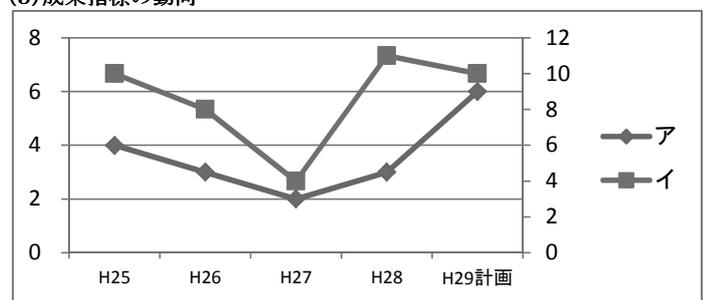
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 4月…28年度育英生選考委員会 10月…29年度育英生募集チラシを市内各中学校及び近隣高校(17校)に送付 1月…29年度育英生募集をホームページに掲載 2月…29年度育英生募集要項を市内各中学校へ持参 3月…広報3月1日号に募集内容掲載及び申込の受付、現育英生進路状況報告、現育英生就学状況照会		ア 育英資金給付願者数	人	17	21	7	19	20
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 育英生の募集を周知した学校数	校	5	5	22	22	22
	対象意図 市内中学3年生及び高校生 制度の活用により、優れた資質を有する生徒に修学の機会が与えられる		④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 育英資金新規給付決定者数(高校生)	人	4	3	2	3	6
			イ 育英資金新規給付決定者数(大学生等)	人	10	8	4	11	10

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果
	普通	かなりある	
	小さい	ある程度ある	
		ほとんどない	コスト比率
			下位 1/3
			中位 1/3
			上位 1/3
			①
			②
			③
			④⑤
			⑥ (4)
			⑦⑧
			⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 実施困難								
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画	
【コメント】 (低下の場合、その理由)							成果動向	ア	Δ1	Δ1	Δ1	1	3
								イ	Δ2	Δ2	Δ4	7	Δ1
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し						
	H29年10月頃まで	出願者数の増加傾向を踏まえ、枠の拡大を検討			<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> その他()						
	H30年1月頃まで	HPの構成の見直し(よりわかりやすくする)		平成29年度	募集枠を見直し(高校生8人→6人、大学生等8人→10人)、新たな人数枠において事務を行う。								